

平成 17 年 5 月 3 日

藤野構造工学委員長殿

山本副委員長殿

佐藤副委員長殿

上田運営委員長殿

杉浦運営副委員長殿

土木学会包括設計コードの印刷に関するお願い

土木構造物荷重指針連合小委員会

委員長 古田 均

構造工学委員会には、本連合小委員会の活動に対して、ご理解とご支援を頂き感謝申し上げます。本委員会の活動も3年目に入り、そろそろ活動の仕上げの時期となりました。活動は、概ね順調に進んでおり、年度末には活動成果をご支援いただきました各委員会に対して報告申し上げますとともに、会員に対して広報するような機会を設けたいと考えております。

活動成果の広報の一環として、「土木構造物の性能設計における作用の指針（仮題）」というものを作成し、講習会等で頒布することを考えております。ところで、この指針名が示しますように、本活動には、土木学会で作成した包括設計コード（平成13年 包括設計コード策定基礎調査委員会）の枠組みが基礎となっております。これは、ちょうどユーロコードの0（共通原則）と1（荷重）の関係に当たるものであります。

活動成果の広報活動について検討しました結果、本連合小委員会の成果である作用指針の趣旨を理解するためには、包括設計コードの内容を同時に広めることが必要であるとの結論にいたり、関係各位にこの包括設計コードの内容を周知さす必要が生じてきました。そこで、誠に恐縮

ですが、前年度未使用の本連合小委員会の予算5万円をこの印刷費に使用したくお願いする
たいです。

包括設計コード策定委員会が受託事業であり、包括設計コードの著作権が国土交通省にあつた関係上、土木学会会員が自由に入手できる仕組みがございませんでした。この件につきまして、当委員会より働きかけを行いましたところ、添付にありますように、土木学会での使用が可能となりました。

つきましては、大変厚顔なお願いでございますが、未使用の構造工学委員会本連合小委員会分の予算5万円を、この包括設計コードを印刷しようすることをご許可いただきたいと存じます。そういたしますと、200部程度の印刷が可能と思われますので、当連合小委員会で印刷を予定しております作用指針と合わせ、配布することが可能になります。

以上、突然の依頼で恐縮ですが、ご検討のほどお願い申し上げます。